



# 日本百名山 登山日記



歩みを止めなければ、いずれ頂に辿り着く、そんな山日記です

## vol.28 日光白根山（日本百名山 32/100）

日光白根山（標高 2,578m）は、群馬県と栃木県の県境にある直径約1,000m、高さ約300mの溶岩ドームといくつかの厚い溶岩流からなる火山です。日本百名山に選定されている白根山は二つあり、草津白根山に対してこちらは日光白根山と呼ばれています。

栃木県の日光と言えば、日光東照宮やいろは坂、中禅寺湖に華厳の滝、そして中禅寺湖の横にそびえる日本百名山の男体山はみなさんをご存じの通りです。

しかしながらその先の、戦場ヶ原や湯ノ湖方面に足を伸ばされる方はそれほど多くはないと思います。私は若い頃に栃木県に住んでいたので、この辺りは魚釣りであらうろろとしていました。

その頃は登山に興味がなかったので、山の名前くらいしか知りませんでしたが、山口県には無い2,000m超の山々が連なる地域として認識はしていました。

日光白根山より北には、ここよりも高い山は無く関東以北の最高峰であることから、私の中で地理的および移動の観点からも一区切りとなる山でもありました。当たり前のことですが、栃木県以北の移動時間は、車移動よりも飛行機+新幹線などが有利となるからです。



出典：ヤママップ地図

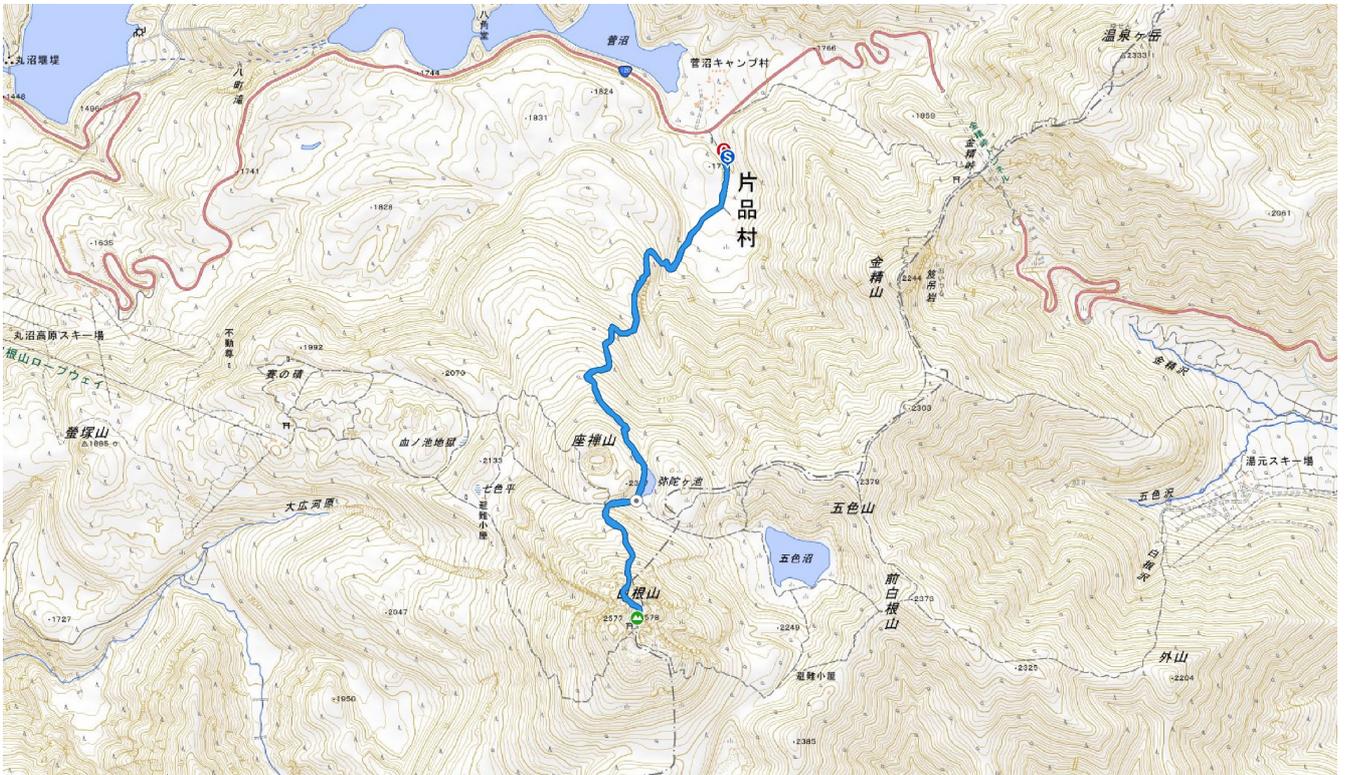
ちなみに今回のアクセスは、栃木県側からではなく群馬県側からとしました。こちら側の方が距離的に山口県から近い事、また都心の渋滞を回避するためです。

但し、近いと言っても自宅から片道1,200km弱、さすがに飛行機と悩むところですが、個人的には飛行機の待ち時間やレンタカーの手続き待ち、そして何より公共交通を利用すると人込みに身を置く必要があることが最大の苦痛です。よって、気ままな車移動を選択しました。

但し、今回の結果から言うと、二泊三日の行程で中日に登山をするための移動とすれば、この辺りが限界のような気がします。

GWなどの長期間の休みであれば、1日当たりの移動量を減らしてのんびり行くのですが、さすがにきついです。これ以上移動に時間をかけると、睡眠時間無しで登山をすることになり、結局、帰路が疲れ果てて安全面が確保できない状況になってしまいます。

帰宅するまでが登山です。山の中にいる時だけでなく、道中の安全も最大限に考えて行動する必要があります。



**登山データ：距離 7.1km 累積標高上り 878m 登山区分 日帰り (ヤママップのデータを転記)**

では、今回の遠征について記します。

出発は金曜日の午前6時、目指すは車中泊予定の関越自動車道の赤城高原SAです。この日の移動距離は約1,100km、山陽道~新名神~名神~中央道~上信越道~関越道を乗り継ぎ目的の赤城高原SAに到着したのは21時過ぎ、毎度のことながら愛知県の一宮JCT付近で大渋滞、今回はリニューアル工事の車線規制区間による交通集中渋滞の為、まったく動かず、1時間半以上もの間、徒歩以下のスピードでした。

本来なら19時過ぎには到着し、たっぷり寝てから登山する予定でしたが、残念ながら遅れた時間は睡眠時間を削ってスケジュールを回復させます。晩ご飯等は既に済ませていたため、到着後は歯磨きをしてさっさと就寝します。

深夜2時半、トイレ休憩と思われる人の声で目が覚めたので、天気予報と雨雲レーダーをチェックすると、なんと予報が変わり午後の早い段階で天気が崩れるようになっていました。

ここ最近、北関東一帯は大気の状態が不安定で、雷が鳴り雹が降るなど天候が悪い日が続いています。もう少し寝たかったのですが、天候が良いうちに登山をしたいので、登山服に着替えて菅沼登山口に向けすぐに出発しました。

登山口までは約1時間30分、途中の沼田市でコンビニに寄り朝ご飯と昼ご飯を購入、国道120号を片品村方面へ向かいます。するとここで幸運が舞い込んできます。薄明るくなりつつある午前4時、丸沼の少し手前の道路上で二ホンカモシカと遭遇、写真は間に合いませんでしたが、好きな動物なので嬉しくてたまりません。特別天然記念物であるカモシカは、神の使いや幸運を運んでくる動物とも言われていますので、今日の登山は良いものとなりそうだ勝手に解釈しました。

さて、菅沼登山口の駐車場に到着しましたが、まったく誰もいません。前日は雨、そして本日も微妙な天気なので致し方ないのかもしれませんが、寂しすぎます。

しかも、車を止めて車外に出るとめっちゃくちゃ寒い、まあ、標高は既に1,700mを越えているので当然と言えば当然、駐車場の山際には雪が残っているくらいです。

駐車場横の登山届提出ポストに、駐車料金1,000円を登山届に包んで投函（登山届ポストと料金箱が兼用）、準備を済ませた4時26分いよいよ登山開始です。



登山口駐車場 誰もいません（奥が登山口）



逆方向 国道120号側 登山届ポストが見えます

実は、日光白根山に登る場合は、菅沼登山口より約10km群馬県側の丸沼高原スキー場にある日光白根山ロープウェイを利用するのが一般的らしいのですが、いつも通り自分の足で登りたいのでロープウェイはパスしました。

まず、最初の目的地である弥陀ヶ池までは、距離2.7kmで約550mの上りとなりますが、誰もいない樹林帯ということもあり熊鈴をきっちり鳴らしながら行きます。

曇天の薄暗い樹林帯の中を歩くのは、嫌いではありません。何か異次元の世界にでも居るような特別な雰囲気を感じさせてくれます。登山道は一本道で明瞭であり、特に問題となるような箇所はありませんでした。

樹林帯の中を進むこと約1時間、標高が2,000mを越えたくらいから、登山道に雪が目立つようになってきました。但し、特にアイゼンなどを必要とする場面もなく、溶けた雪が再凍結したアイスバーンにさえ気を付ければ問題ないレベルです。



スタート直後は気持ち良い樹林帯



鹿がお出迎え



火山の山らしい登山道です



登山道が残雪に覆われています

雪でペースがやや落ちたものの、予定通りの時間で弥陀ヶ池に到着しました。すると目の前に日光白根山がでーんと姿を表しました。正直、眺望は期待できないと思っていましたが、ラッキーな事に山頂までクリアに見えます。また、弥陀ヶ池の水面には逆さ白根山が美しく映ります。

弥陀ヶ池は標高2,200mに位置する小さな池です。流入河川は見られませんが、雪解け水や雨水を涵養源としていると思われます。そんな池の中に、何やら見慣れぬアケビの実のような白い物体がたくさん確認できます。これはいったい？

下山後に調べると、クロサンショウウオの卵でした。クロサンショウウオは東北や北陸、北関東地域などに生息しており栃木県・群馬県では準絶滅危惧種に指定されているそうです。

また、すぐ側には見慣れたカエルの卵もありましたが、これはアズマヒキガエルの卵でした。



弥陀ヶ池に到着です



池の横には木道が設置してあります



これはいったい何？



閲覧注意とします

さて、弥陀ヶ池で少しエネルギー補給をした後、いよいよ目の前に威風堂々と構える日光白根山を目指します。

ここからの登山道は、先ほどまでの樹林帯とがらりと様相が変わり、火山の山のそれです。登山道は荒々しく勾配はきつくなり火山岩がゴロゴロ、切り立った岩場、そして何より眺望が開け楽しくて仕方ありません。但し、当然ながら登山の危険度も上がります。私が登った時間帯は風はほぼ吹いておらず安心して登ることが出来ましたが、ひと度、強風が吹き荒れたり、雨や雪が降ると難易度は一気に増してしまいます。



山頂まではガレた道が続きます



写真で見るより勾配はきつい



岩場に取り付きます



目の前の岩峰を登ってきました

弥陀ヶ池から上る事、約1時間で日光白根山の山頂に到着しました。ここまで、一人の登山者にも出会っておらず、またロープウェイの始発時刻は遅いこともあってか山頂にも誰もいません。過去、いくつもの日本百名山を登りましたが、山頂まで誰にも会わず、また山頂で約40分間のんびりしたにも関わらず、一切誰とも遭遇しないなど初めてです。軽く食事をしながら独り占めの山頂を堪能した後、下山を開始します。



日光白根山 山頂



男体山と中禅寺湖



五色湖と前白根山



なんとも言えない風景です

下山では、滑落・転倒に最大限の注意を払いながら確実に歩みを進めます。但し、目の前には尾瀬方面の山々が美しく、ついつい足元よりもそちらに目を奪われてしまいます。弥陀ヶ池まで下りると、ようやく登山者とすれ違うことが出来ました。弥陀ヶ池から先は、残雪の下りとなるので先ほどまでとはまた違った意識を足元に集中させ歩きます。その際、数名の登山者とすれ違ったのですが、それなりに山慣れた装備の人は良いですが、若者数名が普通のジョギングシューズ（トレランシューズではない）のような靴で登っているのを見ると、雪への対応は大丈夫なのか、またこの時間から登ると下山は15時頃になるから、雨や雹や雷への対応は大丈夫なのかと心配になってしまいます。

午前10時20分、無事に下山を完了。登山口の側には茶店があり、そこで土産物を購入、蕎麦で早めの昼食をとり、今回のもう一つの楽しみである日帰り温泉（白根温泉 大露天風呂薬師之湯）に向かいます。



下山を開始します



尾瀬方面、遠くに燧ヶ岳



下山中に振り返って



弥陀ヶ池

時間は11時30分、源泉かけ流しの内湯と広い露天風呂がある温泉施設ですが、この時間帯は露天風呂に年配の男性が一人居ただけで、ほぼ貸し切り状態、結局、内湯の中で登山疲れの身体をストレッチでほぐしたりしながら満喫、お値段以上に満足な時間となりました。

帰路は、当たり前ですがロングドライブ、途中、高速のSAで車中泊をしながら翌日の昼過ぎに帰宅しました。

日光白根山は、標高が2,500m以上の山でありながら比較的登りやすく、また距離が短い割には見所が多いことから満足度の高い山だと思います。

山口県からは遠いですが、またいつの日か登りたいと思える素晴らしい山でした。